

## 平成 30 年度第 2 回さぬき市子ども・子育て会議 会議要旨

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 15 日（木）18：00～19：10
- 2 場 所 さぬき市福祉事務所 303 会議室
- 3 出席者
- [委 員] 佐竹勝利 杉浦修造 谷口広海 岡田 保 谷澤和子 木村睦子  
山本千景 中川順子 大西由美 植田美香 筒井美佐子 （欠席  
4名）
- [事務局] 間島憲仁 白井邦佳 富田克美 中野敏記 山下隆則  
石原裕二 池下琢治 山本陽子
- [傍 聴] 0名
- 4 議 題 (1) 子ども・子育て支援に関するアンケート調査について  
(2) その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	ただ今から「平成 30 年度第 2 回さぬき市子ども・子育て会議」を開会いたします。 本日の会議でありますけれども、委員 15 名の中でただいま 11 名の方の出席をいただいております。さぬき市子ども子育て会議条例の規定に基づきまして委員の過半数が出席しておりますので、本日の会議が成立しておりますことを報告させていただきます。また、附属機関等の委員の構成等の指針に基づきまして、本日の会議は公開としております。ただいまのところ、本日の傍聴の申し出はございません。それでは開会にあたりまして、佐竹会長からご挨拶をお願いいたします。
(会長)	皆さん、こんばんは。すっかり暗くなって、しかも寒さも感じるぐらいになってきましたが、ご参加いただきありがとうございます。今日の主な議事は、子育て支援のアンケート調査として、次期の計画を立てるための調査を行うということで、かなりの分量があるようですけど、忌憚のないご意見をよろしくお願いします。
(事務局)	ありがとうございました。本日の会議には、アンケート業者の受託業者でありますジェイエムシー株式会社の担当者もご出席頂いております。どうぞよろしくお願いします。
(事務局)	それでは、議事に移る前に資料の確認をお願いします。 議事進行につきましては、佐竹会長にお願いしたいと思います。
(会長)	それでは、進めさせていただきます。お手元の資料を見ながらということになりますが、まず第 2 期の子ども・子育て支援事業、計画の策定に係るアンケート調査についてを議題とします。初めに事務局からの説明をお願いしたいと思います。

<p>(事務局) (会長)</p>	<p><b>【議題（１）説明】</b></p> <p>はい、ありがとうございました。ジェイエムシーの桜垣さんから資料等の補足説明がありましたらお願いします。</p>
<p>(ジェイエムシー)</p>	<p>失礼します。今回調査票、3種類をお手元の方にお配りさせていただいていますが、まず、就学前児童の調査につきましては、調査項目一覧表にありますとおり、ほぼほぼ丸印になっておりまして、丸印につきましては、国・県への報告の必要性がありますので、調査項目の変更が難しい調査項目となっておりますので、その部分をご理解いただければと思います。就学前児童につきましては、国の必須項目に加えまして、前回から、調査時に設定しておりました調査項目、評価指標として使われる項目がございますので、その部分は経年変化を把握するために、同じ聞き方で、今回も設定しております。△印につきましては、ほぼすべての項目に近いのですが、子どもの貧困対策に関する項目が前回にはなくて、今回に追加をされております。また、一部児童虐待に関する項目を充実させました。あと、次期計画を立てた後の評価をしていくうえでの、評価指標になるような項目、例えば問49番、今後もさぬき市で子育てをしたいと思いませんか？というような、こういった評価指標を、項目を追加させていただきました。小学校の1・2・3年生につきましては、おおむね前回の調査項目、基本的な項目と児童クラブに関する項目は前回からの引き続きの項目となっております。それ以外の項目につきましては、追加設問は、就学前同様、子どもの貧困対策に関する設問が、中心に追加されています。小学校5年生、中学校2年生につきましては、前回調査を行っていない学年への調査となっておりますので、すべての項目が新規の設定項目となっております。この部分につきまして、委員の皆様のご意見が「もっとこういうものを聞いた方がいいのでは」「聞き方はどうか」というものがありましたら、忌憚のないご意見をいただければ、対応できるかと思っていますので、ご意見の方をよろしくお願いします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>はい、ありがとうございました。それでは、ご意見、ご質問などがありましたら、お願いしたいと思います。一応順番にしてみましようか。まず、子ども子育て支援に関するアンケート調査について、概要がここにあるわけですが、これについてご質問ございますか。よろしいでしょうか。ちょっと私の方から。よく分かってることなんですけども、説明のときに、入れたらどうかと思います。それは何かというと、3ページ、実施方法で「前回実施時とおおむね同じ条件で実施予定」ということで、さぬき市にお住まいのうんぬんとありまして、2行目、「について、全数を調査対象とし、」とあるので、そここのところで保護者の方全数というふうにおっしゃったんですが、誰に調査するのかというのがないように思いましたので、保護者を入れておいたらどうだろうかと思うんですね。児童や生徒を対象にしているのではないかと思いますので、そここのところだけお願いしたいと思います。それと、下の枠がありますが、これは多分入ら</p>

	<p>なかったからかと思うんですけど、小学校5年生、中学2年生のところには保護者というのがないので、あった方がいいかと。</p> <p>それでは、アンケート調査そのものの方を見ていきたいと思います。まず就学前児童用、これにつきましてご意見あるいはご質問なり、お気づきのことがありましたらお願いしたいと思います。</p>
(委員)	<p>資料2ページの8番の問いなんですけれども、これ収入を聞く欄になってます。これはどうも国の必須事項ではないみたいなんですけど、そもそも家計を算出するときに、高校生の息子がバイトしてても、その収入も入れてください、大学の子どもたちが行ったところでバイトをしてても、その収入も入れてくださいみたいな表記になってるんですけども、ちょっと難しいかな。結局、正確な数字はここでは取れないかなと思うんです。多分、欲しい数というのは、貧困家庭か貧困じゃない家庭かという数値に絞りたいんですよね。調べたい内容としては、そういうところみたいなので、この項目、もう少し簡単な表示に変えるという手はありませんか。</p>
(事務局)	<p>ご質問ありがとうございます。どうしても今回の調査のネックになるところは、この年収の回答部分かなというふうには考えております。ただ、他の自治体等では貧困に関するアンケート、それから貧困対策の計画を別途、一本立ててやっているところもあるんですけども、さぬき市の場合はそこまでしないで、今回の調査に合わせて実施をするということを考えております。ただ、県が一昨年、28年度の後半で子どもの未来アンケートということで、この貧困調査を行ってございまして、今回のこの設問については、ほぼそれと同じような選択肢で補足説明もなかなか難しいんですけども、してございまして、それによって前回の調査との比較ができるというようなことがあるので、この状況で設問をしております。参考までに申し上げますと、県の調査においてでも結果、回答される方がどこまでこれを十分に把握して的確に答えられているかというのはかなり難しいところで、調査機関が他の業者さんなんですけれども、今回うちの委託事業のプレゼンに入られてましたので、その辺りをお聞きしたんですが、やっぱり中間値で全部っていくのでなかなかシビアな答えは出にくいということはおっしゃっておられました。貧困線というのが一応、国の方で平成27年の調査で決まってるのが122万円という結果になってまして、これも収入をどこまで計算に入れるかとか、手取り額はどうかと、その辺りも含めてなかなか難しいとは思いますが。ただ、やはり1つの参考値にはなると思われるので、県に合わせた形で今回は調査しようということになってます。ちなみに前回の調査で貧困線を下回る家庭というのが、県全体では10.6%という結果で、さぬき市の場合は15.5%ありましたので、ちょっと高めかなというふうな結果が出ております。ですので、今回同じような質問をしておりますので、それとの比較でどう出てくるかなという比較になっておるかと思えます。</p>
(委員)	<p>でも、比較したところで数字的なものって結局アバウトなわけじゃないです</p>

	<p>か。もともとがアバウトな数字しか上がってこないだろうなという感覚で、この票、これに記入するというのは結構ハードルが高いと思うんです。私だったら嫌だなと思います。何か、この情報が他のことに使われないかなとか、他のところに出ていくんじゃないかという不安がやっぱりあるので、いくら市の調査ですと言われても何となく金額というのは書きづらい。アンケート自体には直接関係ない、直接というか、あることはあるんですけども細かくは要らないじゃないですか。何かありませんか、表記の仕方。</p>
(事務局)	<p>結局、世帯全体の年収で書いていただきますので、どうしても幅が広がってきます。幅が広くというか、それでもやはり 100 万円単位ぐらいの幅でいかないと、例えば 700 万から 800 万の収入の人だったらどういう計算をするかといったら 750 万と計算をします。それに世帯の人数で割って、平方根で貧困線というのが決まりますので、例えば今、貧困線は 122 万ですけど、二人世帯だとこれが 172 万円がボーダーになって、3人世帯だと 211 万円がボーダーになってという、そこで線引きをしてしまうので、どっちにしても正確かどうかという目安でしかないとは思いますが。やはり国の方でも統計調査でこれに近い状態で統計を出してまして、それが平成 27 年度は 13.9 という数字ですので、やはり全然違うやり方で調べたところで生かしようがないということになってきますので。</p>
(委員)	<p>というか、今ちょっとお聞きしたんですけども、コンサルの方が貧困がどうしても知りたいという、ここではもう貧困が知りたい、高所得とかそういうことは関係ないんだというのであれば、非課税と課税世帯というふうな分け方もあるんじゃないかという話があったので、確かにあなたの家庭は課税世帯ですかという表現だと答えやすいじゃないですか。そうじゃないと、2つの設問から選ぶとなったら。何か答えやすすくないですか。直接自分の収入とか世帯の収入とかが表に出ないという安心感がありますよね。だったらそういう表記でもいいんじゃないかなと。さぬき市が独自ですということ、さぬき市のことなんですから、反対に言えば県や国がどうあってもさぬき市の貧困が高かったら対処しなければいけない、早急に動かなければいけない項目になってくると思うので、自分のところのまちの実情を知るところにウエートを置く方がよくないかなと思うんですが。数字にこだわりたいですか。数字が好きですか。考えてみてください。</p>
(事務局)	<p>どうでしょうか。究極の選択でいうと、その二択もありかなとは思いますが。ただ、どうなのでしょう。課税世帯、非課税世帯というのが、これもやっぱり説明は要ると思うんですけども。どうでしょう。</p>
(事務局)	<p>この件について他の委員さんから何かありますか。</p>
(会長)	<p>いかがですか。</p>
(委員)	<p>答える側の立場に立ったときに、質問数が多いのでできるだけぱっぱと答えられる方がいいかなと思うんです。結構この収入うんぬんに関しては所得を</p>

	<p>得ている人間が多い家庭になればなるほどきっと計算がややこしいと思うんですよ。細かく書かないといけないと考えられる方は、やっぱりこれ見て、これ見て、これ見てと計算してといったら、それだけでこの1間に時間をかけて考えられてしまうのかなと。もうやっぱり選択肢は簡単な方が答えやすいかなという気はします。先ほどの課税、非課税の選択肢だったら比較的簡単に答えられるんじゃないかなと思います。</p>
(会長)	<p>他にございませんか。さっきの事務局からの説明で国とか県とかのありました、その国とか県とかの比較というのでしょうか、位置でどのぐらいに市の方があるかというようなのを見る、例えば具体的に、この家族に年収がどのぐらいあるのかとかいうこととか、それから国や県が使ってる選択肢というのがこういう文面になってるということでしょうか。</p>
(事務局)	<p>県の調査のときには収入の幅については全く一緒だったと思います。国の統計調査の場合は、ちょっと1回見たことはあるんですけど、別の統計から拾ってる状態だったと思いますので、このとおりにかまではちょっと定かではないです。</p>
(委員)	<p>122万といたら生活保護を受けているような状態ですかね。</p>
(事務局)	<p>いや、生活保護ではないと思われます。</p>
(事務局)	<p>一応、ここでいう手取り額には手当とかそういうものも含んで計算していただくことにはなってるんで、そこがきちんと答えられてるかどうかは分かりませんが。課税世帯か非課税世帯かどうかの聞き方に変更して特に支障はないですか。</p>
(ジェイエムシー)	<p>あくまでも目安にはなるので。県の集計結果との横並びでの比較はもうできなくなります。ただ、1つの基準としてさぬき市の基準を課税世帯か非課税世帯かだけで見ますということでの見方であれば、そういう見方もある。県内でもそっちの方の課税、非課税世帯だけでいった方がいいんじゃないかという議論はもちろんやっぱり出てはいます。両方ですね。</p>
(事務局)	<p>ちょっと難しいかなと私が個人的に思うのは、課税か非課税かというのは、それぞれ個人の市民税、県民税についての判断になるので、それが世帯で判断するかどうかというときに、その世帯の中に非課税の方ばかりだったら非課税でOKなんでしょうけど、課税の方もいるし非課税の方もいる、その課税の方の課税額はわずかな課税額だったとしても、じゃあどっちにするのみたいな、そこも結局よく分からない部分があるので、どこまで説明してどういう趣旨で書いていただくかというのは、書き方もちょっと工夫しないといけないかなと思いますけれども。どうでしょうかね、本当に。</p>
(会長)	<p>ここで今のご質問に対して納得していただけるような説明が十分できないけれども何かあるということであれば、もうちょっと根拠があるとか、比較はどうしても必要になるとかいうのがあれば変えられないかもわからないけれども。今さら多数決というわけにもいきませんので、そこら辺りを考慮</p>

	<p>してご検討いただきたいということにしておいてよろしいですか。</p>
(事務局)	<p>はい、分かりました。</p>
(会長)	<p>他にございませんか。</p>
(委員)	<p>細かいことばかり言うんですけれども、6ページ、7ページ辺りなんです が、「一定の利用者負担が発生します。」という言葉があると思うんですけれど、 これ有料ですという言葉には変えられませんか。もうまどろっこしい、きれい な言葉ではありますけど、はっきりいえば、これはお金がかかりますよという ことが伝えたいのかなど。このサービスを使うときは無料ではありませんよと いうことが伝えたいのかなど思ったので、それだったらもうはっきり有料です といったら4文字で済みますから読みやすいかなど思ったんですけれども、や っぱりそういう表現は決まってるんですか。こういうアンケートにおけるこう いうときはこういう表現を使いますという文言とかがもう決まったら仕方が ないんですけれども。いかがですか。</p>
(ジェイエムシー)	<p>失礼します。※印で「一定の利用者負担が発生します。」とか「一定の利用料 がかかります。」という表現がありますけれども、ここの部分についてはこうで ないといけないというのは特にはございません。言い方を変えるのは別に、意 味合いが変わらなければOKにはなります。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。他によろしいですか。</p>
(委員)	<p>できるだけ字数が少ない方が読みやすいじゃないですか。なので、括弧書き でいろいろ、保護者の用事とか、の後ろにこうこうこういうことですよという 説明があると思うんですけれども、別に保護者の用事という言葉がなくても後 ろの言葉だけで十分伝わるとのこといっぱいありますよね。括弧書きにされ てるんですけれども、それが実はその中身だよという。そういうときもやっぱ りあれは括弧書きにした方がいいですか。</p> <p>それともう1つ、11ページになるんですけれども、該当しない方というのは で、また括弧書きで5歳児未満の方という表記がありますよね。だから括弧書 きの中に分かる言葉があって、その前にきれいな言葉が出るという表記がとて も多いような気がして、要らないのであればその言葉ってない方がよく分かる ような気がしたんですけれども。</p>
(事務局)	<p>先ほどのお話もそうなんですけど、結局なるべく読み間違えがないようにと 思って回りくどく書いてしまうケースも中にはあるかと思います。なので、よ り合理的な書き方に改められるものは改めたらいいかなどはと思いますが、設問を よく読まずに書いてしまわれても困るという部分があって、二重に注意書きの ように書かれてる部分もあるんですけれども、やはりそこにちょっと抵抗があ るといことであれば考えますけれども、なるべく分かりやすさを考えながら チェックをかけてはっておりますので、どうしてもこれはいけないというこ とがあれば言っていただければありがたいかなどと思います。</p>
(委員)	<p>25番目の子どもに関する相談先というふうになってるんですけれども、こう</p>

	<p>いう表記をとると、もしも家庭の中でDVとかがあった場合に、多分、括弧書きの中では家庭等という言葉があると思うので、それも指してるんだと思うんですけども、表に子どもという言葉が出てしまうと、それが外れてしまうようになってしまうと思うんです。こういうときは、前の表記というのはやめた方がいいんじゃないかなと思います。子ども・女性センターの番号が入っているので、多分これDVもその対象の中に入ってるはずなんです。だから子どもだけではない。確かに児童虐待のパターンでは後ろにDVが隠れてることが多いので、両方が一緒になってるとということが想定されますから相談先というのは一緒のところというのが多いと思うんですけど、あまりそんな詳しくない人に見てみたら、子どもという表記があったら、あそこは子どものことではないと電話できないんだなという、今度、反対に理解されやすいような気がするんです。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>おっしゃることは十分、分かります。なので、もし変えろとしたらどうしましょうか。次に掲げる相談先ぐらいにした方がいいですか。それとも、もしくはもう最初に頭から「子どもや家庭等に関する相談先」で括弧書きを除いてしまおうとか。どっちがいいでしょうかね。</p>
<p>(委員)</p>	<p>そうですね。括弧がない方が分かりやすくないですか、読んだときに。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>子どもや家庭等に関する相談先というふうな表現に変える感じでいいですか。はい、分かりました。</p>
<p>(会長)</p>	<p>括弧を除けるわけですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>そうですね。</p>
<p>(会長)</p>	<p>他はよろしいですか。私の方からちょっとよろしいですか。5ページですが、問11の1でお子さんは平日どのような教育・保育事業を利用していますかとありまして、ここにあるのは、さぬき市の施設を利用している方だけという理解か、あるいはこれはあるんですか、さぬき市以外に保育所に預けてるとか幼稚園に行ってるとかという家庭、あるとするとちょっとそういう表現にしてるのかなという。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>この場合は、さぬき市に限った話ではなく、おおむね、さぬき市内を利用されてる方がほぼ大半だろうとは思いますが、中には市外のそういう教育・保育施設を利用されてたりとかも当然ございます。その場合もこの項目に当てはまる場合はその項目で回答いただいたらいいですし、もしくはさぬき市の書いてるこの10個までのサービス以外のものでサービスを市外で受けられてるとかいう場合はその他のところにご記入いただいたらいいかなというふうには考えております。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ちょっとこの枠の下にさぬき市以外も含みますとか何か。余分ですかね。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>他の設問も多分、その辺りが影響はしていくので、それぞれ書いていくとすると、ちょっと他も目を配る必要があるんですけども。全体的なニーズを把握するための設問ですので、あまりそこまで厳格にする必要はないのかなとは</p>

	<p>思いますので、市に特定する必要はないかなと思いますけれども。次の設問のところで利用したいものの選択項目の中に、例えばそこに5番の小規模保育施設とか、6番の家庭的保育とかでしたら、現在さぬき市内にはありませんと、実施していないサービスについては、そこに断り書きがされているので、現在の状況としてはなくても特に支障はないかなというふうには思います。</p>
(会長)	<p>ここを見れば、さぬき市外のものも含まれてるなというか、書いていいんだというふうに。</p>
(事務局)	<p>はい、そうですね。逆説に。</p>
(会長)	<p>同じところで利用してないという設問は要りませんか。さっきの6ページの方は利用したいと思う事業はないというようなのがあるんですが。</p>
(事務局)	<p>多分、12番を選ばれる方はほぼいないんじゃないかと思いますが。でも、前回5年前の調査でも利用したいと思う事業がないと答えられている方が4.3%いますので、なくもないのかなと。</p>
(会長)	<p>そうすると5ページの方も利用してないという、定期的に利用している事業をお答えくださいという。</p>
(事務局)	<p>5年前のときは、利用しているが78.9%で、利用していないが19.4%、無回答が1.7%。</p>
(会長)	<p>他にございませんか。</p>
(委員)	<p>利用したいと思う事業がないと書いていたらつけにくいのかなと。利用したいと思わない人はいると思うんです。自分でしますと。なので、事業がない、これがあつたらいいかなとは思いますが、自分だつたらつけないよという人もいますので、だつたらもうこの事業とかを除けるとか。利用はしたいと思わないという人も。</p>
(事務局)	<p>答えは一緒ではありますけど、どうでしょうか。</p>
(委員)	<p>一緒ではあるんですけどね。</p>
(会長)	<p>これは前回と同じ表現ですか。</p>
(事務局)	<p>そうですね、はい。利用したいと思わない、ぐらいい変えても支障はないです。</p>
(会長)	<p>同じことですね。他によろしいですか。内容に関わることではないんですが、15ページの35の2ですね。真ん中の線は何であるのだろうか。1. 2. 3. 4.、ここは線要らないですね。</p>
(事務局)	<p>他のところで特に入れてないので、ここもなくともいいとは思いますが。見やすいか見やすすくないかだけの話かなと思います。他のところもないので消した方がよければ消す方向で考えます。</p>
(会長)	<p>よろしいですか。まだ他にもありますので。それでは、小学1、3年生用の方でお願いします。</p>
(委員)	<p>いいですか。ページ9なんですけど、36問のところの1番目が親子が安心して集まれる身近な場で、2番目も楽しめる場所という表現になってるんですけど</p>



	<p>も、ここを場所を公園という言葉に変えることはできませんか。PTAの方から、ほんとに長い間、さぬき市に公園が欲しいという意見をずっと聞いてるんです。だから場所とかそういうふうな言葉で濁さずに直で公園という言葉を入れていただくと、より具体的な表現ができるような気がするんですが。これも前と同じなんですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>設問は一緒ということです、前回と。あまり絞り込みがされない方がいいのかなと私的には思うんですけども。</p>
<p>(委員)</p>	<p>でも、欲しいという声がずっと、もう十何年出てて結局実現してないというのは、かなり大きい痛手だと思うんです。これだけアンケートをとって、保護者の声が毎回上がって、毎回出てるのに、それに着手できない、優先順位がどうしても落ちてしまうというのは、ちょっとさぬき市として痛いなど。とらまるの方に遊びにいきます、東かがわへ行きます、三木の方へ行きますという声がやっぱりあのころから強かったんですよ。結果、子育て世代がよそへ逃げたというのが、本当にはっきりしてきたので、ここほんとに重要なところだと思うんです。</p>
<p>(副会長)</p>	<p>ちょっとよろしいですか。私も委員さんのご意見に賛成なんですけども、今、親子世代、ほとんど子育て支援センター、これは逆に各保育施設なんかで充実されていってると。ただ、子育て支援センター以外へ行こうかといったときには、おっしゃるとおりに三木町、東かがわ、高松へ行くんですね。みろく公園ですか、さぬき市にありますけども、長時間楽しめるとか、雨が降ったときに、お弁当を持って行って食べるということはちょっと難しいのかなという面がありますし、確かに公園デビューという言葉がもう死語になってるということがあろうかなと思います。そういう意味で、私の知り合いも公園をつくってほしいということで市に陳情している方もおられるというふうに聞いてますので、具体的な方がいいのかなとも思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>なかなか難しい問題とは思いますが。公園といっても結局は必要な公園がどんな公園なのかはもう皆さんそれぞれ違うでしょうし、遠くてもいいから大きくて整備のされた公園がいいのか、小さくてもポケットパークでもいいから欲しいのか、どっちにしても利用しづらいものでは何の意味もないと思いますので、結局、聞き方としては公園というふうに特定したところで、やはり整備する側にとったらどんな公園だろうということには多分なるのかなと思います。他の自治体のアンケートを見ましても、やはり公園の要望というのは一番強いんですね、どっちにしても。やはりそこが一番足りてない部分だろうと思いますし、なかなか実現されていってない部分なんだろうとは思いますが。なので、もう少し具体的に公園という名称を入れるような形で、ちょっと修正の方をかけたいなどは思いますけれども、そんな感じでよろしいでしょうか。</p>
<p>(会長)</p>	<p>他にはありませんか。さっきの就学前と同じようなことなんですけど、ちょっと今、気がついたんですけど、8ページの間32ですね。いわゆる孤食のこと</p>

<p>(事務局)</p>	<p>ですけれども、利用したいと思う、利用したいと思わない、わからない、その他ですけれども、これは理由を聞く必要はないですか。</p> <p>こども食堂につきましては、現在さぬき市でこども食堂として実施されてる取り組みは1つあります。ただ、やはり、さぬき市も広いですので、なかなかそんなに認知度もそこまでまだないのかなと思いますし、こども食堂もいろいろな形態で県内もいろんな団体さんとかが取り組まれてまして、一つは子どもの居場所づくりというふうに捉えた方が多分、一番、広くて抵抗感も少ないのかなと。ただ、やはり全国的にとか新聞報道とかでもこども食堂という名称が一番取り上げやすいので、よく活字であがってきますので、こども食堂という形で紹介をしておりますけれども、利用したいと思わない方の理由は多分いろいろあるんだろうと思うので聞いた方がいいのかなとは思いますが、これも設問があまりくどくなくてもいけないので、ここでは聞いてはないんですけども。</p>
<p>(委員)</p>	<p>やっぱりごはんが食べられないで、本当に貧しくてとか、親の都合でごはんをつくってやれないでとか、香川県じゃないですけど、よそのテレビを見てたら、やっぱり朝ごはん食べてちゃんと学校へ行ったら成績が上がったりとか聞きますから、起きてから2時間ぐらいになったら頭が働かだすということで、やっぱりこんなにつくってあげたら、食べれない子にとってはすごくいいことかなと思います。でも、遠くから来るというのは難しいから、ちょっとこれは何とも言えないですけど。あったら私はいいいと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今回、これを設問に入れることで関心度合いとか、その辺りが少し参考になればというふうに思って、入れさせていただいております。今後は市としても取り組んでいかないといけないとは思っておりますので、ただ、じゃあどこにつくるとか、誰がするとかいうのがあって、やっぱり市が直営ですということとはなかなか難しいと思いますので、地域の方、ボランティアの皆さん等で取り組める場所があればということになるんですけども、その辺りも含めてまた検討させていただきたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>それでは続いてよろしいですか。小学5年生、中学2年生用をお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>いいですか、揚げ足取りみたいな気がして嫌になってきたんですけど。4ページの14の1の設問なんですけれども、これ回答が6つに分かれてるんですが、5番目、つくるのが面倒だからという項目があるんですが、これ、つくる時間がないからとか、食べる時間がないからとかとならないで、これの問題だけ少し意図的にいじわるだなと思ったんですが、これは必要ですか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>単なる設問項目なので、いかようにでもここは変えられると思います。どんな表現がよろしいでしょうか。もしくは全く削ってしまうというのも。つくる時間がないからに、割りと近いのかなとは思いますが、これもね。</p>
<p>(委員)</p>	<p>ちょっと悪意を感じてしまったので。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>つくるのが面倒だから県調査項目にあったやつで、つくる時間がないか</p>

	らは、こちらの方で後から追加したやつなんです。
(委員)	優しいですね、その方が。
(事務局)	なので、これはもう、つくる時間を生かして、つくるのが面倒だから削った方がいいかなと思います。
(会長)	本当に面倒だと思ったら、その他に書きますよね。他にございませんか。
(委員)	すみません、5ページの間 24、25 で選択肢に2の部活動というのがあるんですが、これ、中学生は部活ですけど、小学生は例えばスポーツ少年団ですかね。
(会長)	これ、並行して部活動とスポーツ少年団とか。
(委員)	小学生を指してるんだったらスポーツ少年団を部活動にとか。細かいですけども。
(事務局)	はい、ありがとうございます。
(会長)	他にはありませんか。何かありますか。
(委員)	35の間1の方なんですけど、選択肢の1番で子どもの教育(学力)となっているんですが、心配なのは子どもの学力なのか、それとも子どもに対する教育うんぬんなのか、どちらなのでしょう。
(事務局)	どちらかという、どちらもかなという感じはしますけれども。
(委員)	一緒の選択肢。
(事務局)	そこを分けて書くほどのこともないのかなと。ただ、子どもの学力といきなりしてもちょっと失礼かなとは思いますが、学力に見合ったところしか多分、進学させたいとは思わないのかな、そうでもないのか、ちょっとあれですけども、いろいろ教育の選択の際の悩みみたいな部分を含めた形で設定をさせていただいてるんだろうと思います。これも多分、県の調査にならって設定してるんだろうと思います。
(委員)	進学する際だから入れるかどうかという問題ではなく、それとも入ってからの教育内容について心配なのか、どっちかなと。ついていけるかどうかいう意味なのかなと。
(事務局)	それも両方じゃないですかね。
(委員)	一緒くたになってる。
(ジェイエムシー)	そうです。両方だと思います。あえて分ける必要がない、保護者さんの感覚でもう直感的にお答えいただける、教育、学力とイメージすると多分、分かっていたらと思うので、そこをあえて分けて聞く必要はないという形で今は設定してます。
(委員)	ひっくるめてという。
(ジェイエムシー)	そうですね。
(会長)	それでは、よろしいでしょうか。事務局、この程度でよろしいですか。もうちょっと出してほしいとかありますか。
(事務局)	いろいろ厳しいご指摘をいただきながら、なかなか答えに窮するようなものも結構ありまして、それこそ、いろいろご意見とか気づいた点を出していただ

	<p>くのは全然構わないので、この会が終わってからでも個別にこれというのがあるれば言っていただいて、それをまた内部で検討して反映させるということは十分可能です。ただ、ちょっと時間的にはあまり余裕がもうなくなってきているので、その辺を考慮の上、ご指摘いただければと思います。</p>
(会長)	<p>例えば、今週はもう明日までですけど、来週中にだったらよろしいかなというくらいで。</p>
(事務局)	<p>ちょっと時間的に。今度 11 月 29 日に市内の園長、校長会がございまして、そのときに一応、配布・回収についてお願いをするつもりをしております、そのときに原本は持ってまいりたいと思っておりますので、そこまでに印刷がある程度かかってないといけない、もしくは 12 月に入りましたら早々に各学校等に持って行って配布をお願いするという指定はあるので、申し訳ないですが、できれば今週中、遅くても来週の月曜日までにいただければ、その内容については検討はできると思います。よろしくお願ひいたします。</p>
(会長)	<p>ということで、月曜日でしょうかね。ちょっと時間的なものもあるので、では、今日のところはこのぐらいにさせていただきたいと思ひます。その他ということで、事務局、何かないですか。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございます。今日聞いたご意見をまた再度という時間がないので、それで進めさせていただくということをご了承ください。それと、連絡事項です。スケジュールにもありましたが、次回の子ども・子育て会議で、2 月下旬に集計、分析等の結果になりますかね。</p>
(会長)	<p>そうですね、速報値。</p>
(事務局)	<p>速報値のときに集まっていたらと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。以上です。</p>
(会長)	<p>それでは、2 月下旬にまたご連絡をいただけるということで、速報値の報告の会ですね。では、よろしくお願ひしたいと思ひます。特に他にございせんか。ないようでしたら、このぐらいで終わらせていただきたいと思ひます。よろしいですか。では、終わります。お疲れさまでした。</p>